

# SS-Lecture 第5回講座

## 「くすりを望みの場所に運搬する—ドラッグデリバリーシステム—」

令和元年11月9日(土) 本校

群馬大学より日置英彰先生にお越しいただき、ドラッグデリバリーシステムについて説明していただいた後、実際の薬を用いて実験を行いました。実験内容は2種類の薬(胃で溶けるアスピリン錠剤、腸で溶けるアスピリン腸溶剤)の違いについて考察するものでした。研究室の方々によるアドバイスも受けながら、グループ毎に仮説を立て、実験を行うことで仮説を検証し、考察するという探究的な活動でした。

生徒の感想は、「今まで薬を飲んできたが、それらの薬が望んだ通りの場所で効果を示す理由がよくわかった。」、「自分で仮説を考え、実験、考察までを行うのはとても難しかったが、目的をはっきりさせることや対照実験の大切さを強く感じる事ができた。」など、自分たちで計画した実験を実際に行い考察することの面白さや難しさを実感している感想が多い講座となりました。



ドラッグデリバリーシステムとは



実験に用いた薬



実験で仮説を検証



結果の考察